

平成24年度
実施事業

事務事業名	登別市学校支援地域本部事業
-------	---------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	①青少年の健全育成
事務事業番号	007	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	地域で学校をサポートするシステムを構築し、地域教育力の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	学校支援地域本部を設置し、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施する。 ○事業内容 ・概要 各中学校区に設置された地域教育協議会を中心に地域の特性を踏まえた学校支援事業を実施する。 ・実行委員会の構成 地域住民や教育経験者など ・学校支援事業 「ふれあい農園」「土曜寺子屋」「音楽を楽しむ会」など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	学校支援活動をさらに充実させるための人材発掘を重点事項とする。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	教育基本法

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道 支 出 金	名称	千円	767	1,115	1,300	1,300	1,300
地 方 債	名称	千円					
そ の 他	名称	千円					
一 般 財 源	名称	千円	1,356	1,458	1,551	1,551	1,551
事業費 合計			2,123	2,573	2,851	2,851	2,851

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実 績	24年度 実 績	25年度 目 標	26年度 目 標	27年度 目 標
成果 指標	① 学校支援地域事業参加者数	人	目標値	2,000	2,000	2,300	2,300	2,300
			実績値	1,692	3,106			
	② 学校支援地域ボランティア登録者数	人	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	6	33			

比較		《 Check 》
<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの確保・育成・発掘が課題である。 	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援事業等を行った際に、地域ボランティアの発掘を行った。 ・道主催の研修会への積極的な参加を推奨し、人材育成を図る。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>行政が積極的に事業を推進すべきものであり、国・道ともに同様の方針である。また、補助事業でもあるため、事業主体は市である必要がある。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="checkbox"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>地域ぐるみで学校活動の支援を推進するため、各学校の要望に応じて地域ボランティアを集い、学校活動支援を行っている。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>補助上限額の設定により必ずしも低予算とは言いがたいが、補助事業であるため事務的に煩雑な部分がある。しかし、運営面では地域ボランティアの協力により効果的に事業が実施されている。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>学校支援ボランティアの登録者は増加しており、事業も定着し、学校・家庭・地域の連携体制が構築されてきている。</p>

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	学校・家庭・地域の連携体制が構築されてきており、今後は、さらに多くの地域の方の参画を得て、学校支援活動の充実を図る必要がある。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--